

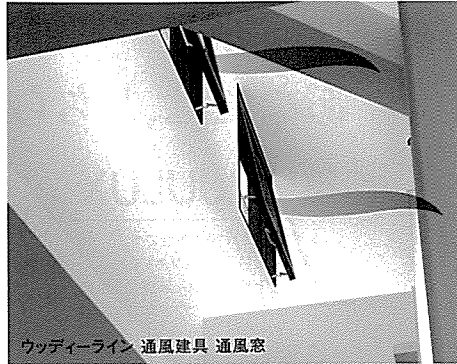
風の通り道をつくると、
家はもっと快適になる。

暮らしを育てる。

LIXIL
リクシル



ウッドイーライン 通風建具 ルーバー引戸



ウッドイーライン 通風建具 通風窓



ウッドイーライン 通風建具 ランマ付きドア



縦すべり出し窓 採風モデル



断熱天窗 スカイシアター



プラスG スライドルーバー



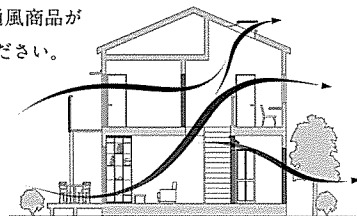
断熱玄関ドア ジェスタ 採風タイプ

自然の恵みの「風」を活かす通風商品が、豊富にラインアップ。
パッシブデザイン住宅のご提案にお役立てください。

窓と扉で、住まいをもっと快適に。LIXILには、「風」を上手に採り入れる通風商品が
豊富にラインアップ。省エネや節電を考慮のお客さまに、ぜひご提案ください。

LIXILの通風商品

ウッドイーライン 通風建具 ルーバー引戸・ランマ付きドア・通風窓 縦すべり出し窓 採風モデル
プラスG スライドルーバー 断熱天窗 スカイシアター 断熱玄関ドア ジェスタ 採風タイプ



窓の最適設計を
ご提案する
**通風・創風
設計サポート**
はじめました。

詳しくはこちらから

[通風創風](#) [検索](#)

株式会社 LIXIL <http://www.lixil.co.jp/>

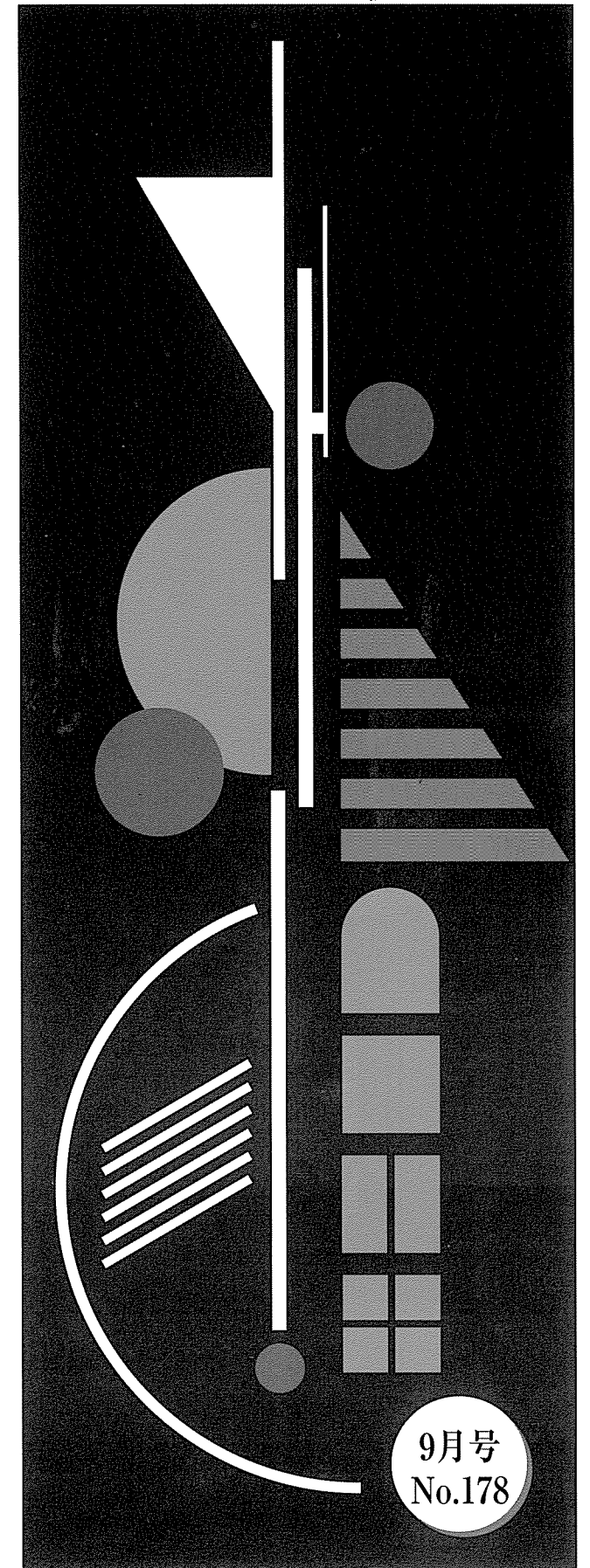
私たちは、優れた製品とサービスを通じて、豊かで快適な住生活の未来を創造する住まいと暮らしの「総合住生活企業」です。

月刊 建材 ナビ

特集「民間マンションを中心に需要を掘り起す
「窓改修」・「改修用玄関ドア」市場

特集「健康な空気のある住まいづくりの最高
グレードの商品として浸透する
「珪藻土配合塗り壁・天井材」

特集「健康・エコ・バリアフリー」をテーマに
快適空間を提案する木質内装建材
アルミ内装建材

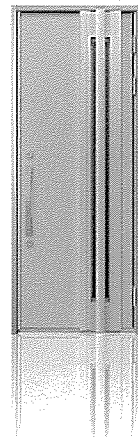
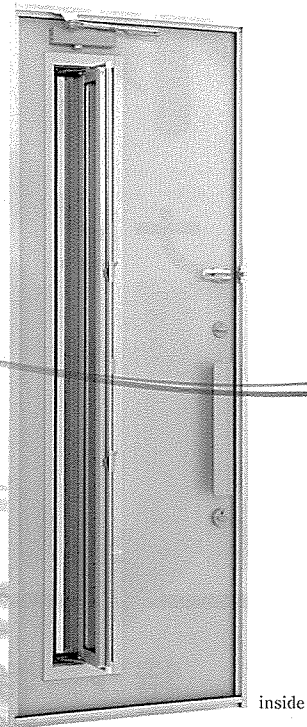


9月号
No.178

Life with Green Technology

三協アルミ

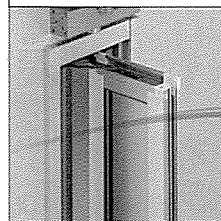
ここから生まれる、
玄関ドアの新たな風。



ドアを閉じたままでも通風・換気ができる、
玄関ドア ラフォース「採風タイプ」。
2012年グッドデザイン賞を受賞しました。

 **GOOD DESIGN
AWARD 2012**

Laforce
ラフォース「採風タイプ」



<http://alumi.st-grp.co.jp/>

三協立山株式会社 三協アルミ社

〒933-8610 富山県高岡市早川70 TEL(0766)20-2251

関東住宅建材支店/TEL(03)5348-0801 東海住宅建材支店/TEL(0561)62-1201 関西住宅建材支店/TEL(06)6916-0203

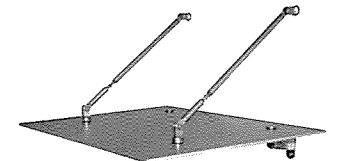
創立
50周年

10%OFF 感謝セール実施中 12月末日迄

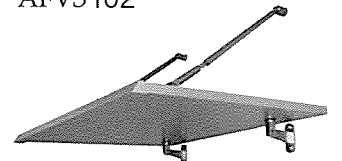
AG e-art ONLY ONE 庇



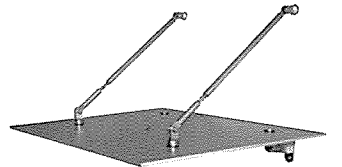
AGAT1500



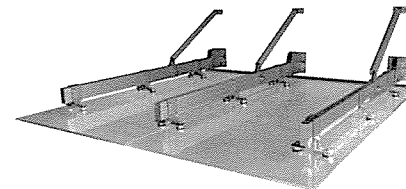
AFVS102



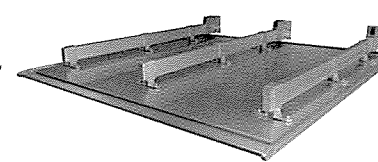
AFVS302A



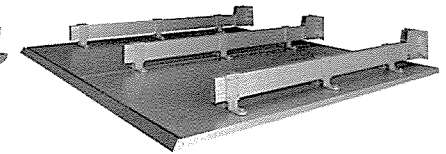
AGV-4-2



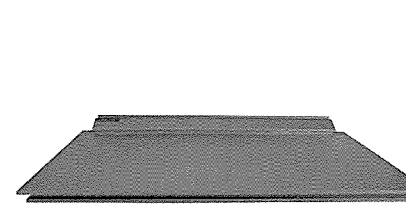
ガラス庇 W ∞ ×D \sim 3000
AGAT1-3000-2



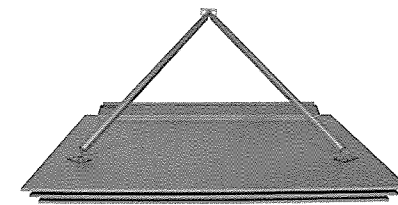
アルミ型材庇 W ∞ ×D \sim 3000
ALF301-3000



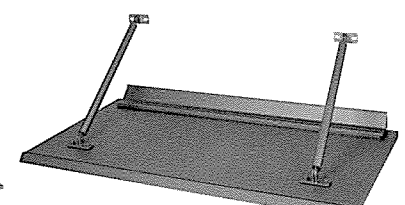
アルミ複合材庇 W ∞ ×D3000
AFV301-3000 / AFHV301-3000



ハニカム庇 W1500×D900
AFHV501



ハニカム庇 W1500×D900
AFHV862



アルミ複合材庇 W1800×D900
AFV302T

AG 株式会社 アート技研工業

ホームページ <http://www.artgiken.co.jp>

ネット事業部：e-art (楽天市場)

(e shop)

〒672-8043

兵庫県飾磨区上野田 2-28

TEL.079-235-7222 FAX.079-233-0726

東京営業所

TEL.03-3592-0038 FAX.03-3592-0083

ミルト出版会

〒182-0023 東京都調布市染地3-1-87

ト-1-407号

☎042-484-4507

FAX 042-484-4509

発行人 堤 祥行

年間購読料 30,000円 (送料・税込)

建材 navi 9月号-No.178 目次

特集 民間マンションを中心に需要を掘り起こす
「窓改修」・「改修用玄関ドア」市場 9

特集 健康な空気のある住まいづくりの最高グレードの
商品として浸透する「珪藻土配合塗り壁・天井材」 12

特集 「健康・エコ・バリアフリー」をテーマに快適空間を
提案する木質内装建材／アルミ内装建材 14

[環境・健康建材コーナー] 3

[新製品・新技術情報／業界の動き] 18

© Miruto Shuppankai Ltd.2013 無断転載・コピーを禁ず


建材市場動向、環境・健康・景観建材情報をお手元に!!

FAX: 042-484-4509 までお申し込みください

キリトリ

月刊「建材navi」購読申込書

月刊「建材navi」を平成25年(2013年) 号(月号)より1年間購読します。
(年間購読料／送料・税込30,000円)

貴社名		部署		ご芳名		印
送付先						
				FAX		

昭和フロント創業50周年記念式典

「MOVE the NEXT」、次の半世紀をめざし、
アルミフロントのパイオニア、唯一の専門
メーカーとして業界を牽引——長谷川社長

昭和フロント(長谷川伸二社長)は8月2日、東京・渋谷のセルリアンタワー東急ホテルで、創業50周年記念式典を開催した。冒頭あいさつで長谷川社長は、1963年6月1日に国内初のアルミフロントメーカーとして発足、同年東京・大手町の旧産業会館事務所玄関にアルミフロントを施工したのが日本国内のアルミフロント施工の始まりであったこと、その後、アルミフロントのパイオニアとして、「昭和ストアフロント」のブランド名で展開、1960年から70年代の厳しい淘汰の時代を経て、1984年に三和グループ入りし、三和グループの安全・安心・快適の理念のもとに事業展開している。

同時に、唯一のアルミフロント専門メーカーであり、パイオニアメーカーとしてアルミフロントの普及促進をはかるために大阪万博の開かれた1970年からストアフロントコンクールを欠かさず実施し、今年で44回を数えること。最後に、「MOVE the NEXT」、次の半世紀をめざして、アルミフロント業界を牽引していきたいと述べた。

三和ホールディングスの高山俊隆CEOは、1984年2月に昭和フロントがグループ入りしたが、当時、三和シャッターはシャッター、ドアにつづく第3の柱を確立し、売上高1000億円メーカーを目指していた。M&Aはは

表彰する長谷川社長

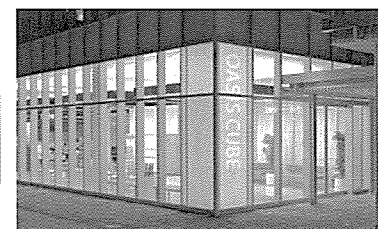


じめるのであったが、これは必ずうまくいくとの確信があった。いま三和グループは次の10年のステップアップを目指してグローバル経営体制を敷いている。昭和フロントはフロントナンバーワン、トップブランドの確立をめざしていくとあいさつした。

式典では、50周年記念第44回ストアフロントコンクールのグランプリ作品「マルハン千葉北店」(設計事務所:グラフィクスアンドデザインニング、イチケン東京支店一級建築士事務所/建設会社:イチケン東京支店/加工店:エース)の表彰式が実施された。その後の記念パーティー会場には、OBを含む多数の招待客を招いて行なわれた。

フロント組込型LEDサイン「EcoLEDA(エコレダ)」に、ガラス面全体にビジュアルを貼り付けて室外側サインに使用する「ガラスサイン型」8タイプを追加

□創業50周年記念商品——
◆フロント組込型LEDサイン「EcoLEDA(エコレダ)」に8タイプ追加:LEDと導光板を光源



に採用した薄型サインとして2011年9月新発売。従来の「アクリルサイン型」は、室内側ビジュアルと室外側ビジュアルの間に導光板を取り付ける方法。

今回追加された新タイプの「ガラスサイン型」は、ガラス面にビジュアルを貼り付けて、ガラス面全体を室外向けのサインとして使用できるようにしたもの。取付工法では、取付孔加工の不要な「ノンビス工法」が追加され、賃貸物件への取付も容易になったことが特長。

バリエーションは、従来のアクリルサインの片面発光タイプ・両面発光タイプ(直付工法)2タイプに加えて、アクリルサインの片面発光タイプ・両面発光タイプ(ノンビス工法)、ガラスサインの片面発光タイプ・両面発光タイプ(直付工法)、同じく片面発光タイプ・両面発光タイプ(ノンビス工法)の6タイプ、計8タイプ。

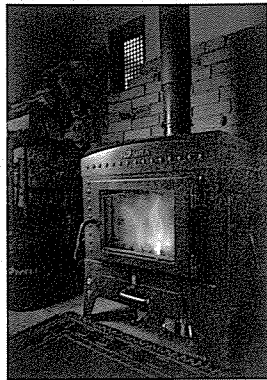
製作範囲は、サイン開口:長辺(LED設置辺)330~2670mm/短辺(LED不設置辺)80~1180mm。フレーム規格色にシルバー・ブラック・ステンカラー、受注色にブロンズ・ホワイト・ダークブロンズ。参考価格は、ガラスサイン・両面発光タイプ・ノンビス工法の1000mm×1000mm・2エッジ・シルバー色が消費税込60万円。

住まいの階段総合メーカー——カツデンアーキテック

“美しく快適な住空間づくり”のための新アイテム——薪ストーブ『HOMRA (ホムラ)』を新開発、オリジナルのパイプウォール燃焼システムを採用し、癒しの「オーロラ燃焼」を実現

カツデンアーキテック(坂田清茂社長、本社:東京都台東区東上野2-14-1マルコーセンタービル8F)は、“美しく快適な住空間づくり”のための新アイテム——薪ストーブ『HOMRA (ホムラ)』を新開発、全国発売をはじめた。

暖房機器といえば、積雪地域でも灯油ストーブやエアコン、床暖房などが一般的で、国内に出まわっている薪ストーブも、ほとんどが海外製品で純国産品は皆無。そうした状況下、敢えて新開発に取り組んだ薪ストーブ『HOMRA』は、いまリビング階段のトップブランドに成長を遂げたシースルー直階段「ObjeA (オブジェA)」と同様に新たなライフスタイル提案のアイテムでもある。



うストーブ本体(鋼板)の反りなどを抑える効果がある。万が一パイプが劣化した場合にも、簡単に取り替えることができる。また、パイプ下部から上部へ新鮮な空気を供給することで、燃焼効率をたかめ、煙の発生を抑制する効果もあり、灰もほとんど残らないから環境にもやさしい。

さらに、パイプウォールに組み込まれた4本の太いパイプや空気調整弁によって、空気の流れをコントロールし、ストーブ上部で炎が優雅にゆらめく「オーロラ燃焼」を実現した。この「オーロラ燃焼」という視覚効果こそ、“炎をみつめ、ゆっくりと流れる時間を体感する”という、いわば現代版「囲炉裏」といえるようなライフスタイルの提案であり、ジャパンストーブ『HOMRA』の大きな魅力といえる。

意匠的にも、日本古来の鉄器を彷彿させるエンボスパターンを採用し、ジャパンストーブらしさを表現する。カラーも、日本古来の「艶紅レッド」「鉄黒ブラック」の2色を用意する。とくに、薪ストーブにはめずらしい「艶紅レッド」を品揃えしている。

搬送・施工面も工夫されている。同社のスチール製リビング階段と同様に、「ノックダウン工法」(現地組立式)を採用。小型軽量化された各パーツを現地に運び組み立てる工法だから、作業者の負担が大幅に軽減できるメリットがある。

新商品の薪ストーブ『HOMRA』と、スチール製リビング階段は、快適なインテリア空間を創出する点で共通しており、リビングを核とした新たなライフスタイルの実現をサポートする。

詳細はHOMRA公式Facebook——<https://www.facebook.com/KdatStove>

シースルー階段「オブジェA」を中心に販売台数月平均165台、地域密着型営業所の拡充でサービス体制強化

——薪ストーブ『HOMRA』の開発意図を改めてお聞かせください。

坂田 なぜ薪ストーブかということですが、燃料として間伐材を使うわけですから、環境への影響は農林水産省のいう「カーボンニュートラル」、＋αゼロとの考え方です。さらにいえば、山林は間伐材

を適宜に処理することで守られるわけで、山林の保護にも貢献できると思う。

ライフスタイルに関していえば、今後とも少子高齢化はすすんでいくとおもいますが、とくにリタイアした男性が薪ストーブの炎を司ることは、家族の中で元気で健康に過ごすための、とてもいいツールになると思いますよ。

すでに、エネルギー問題への関心が高く、自然と触れ合い、それを楽しみたいといった人たちがいわゆる工業化住宅育ちの若い設計者からも注文をいただいている。

——住建事業部、空間デザイン事業(階段事業)、景観事業の内、階段事業の現況をお教えてください。坂田 室内階段は、シースルー階段「オブジェA」を筆頭に、スチール階段「ウェーブス」、フレキシブル階段「フリス」、ミニ階段「ダンデル」、らせん階段の「モデリア」「KDスパイラル」「ウェーブスらせん」、ロフト階段「オブジェAロフティー」のバリエーションです。

「オブジェA」を主力にしたリビング階段が圧倒的におおく、らせん階段は販売全体の15%程度です。このところ階段では新商品を出していませんでしたが、いま新商品開発に着手しています。



——昨年度の販売実績はどうだったでしょうか。

坂田 昨年度の販売実績は、前年度比16%増加でした。仙台営業

所が貢献してくれました。ピークは月産250台に達し、月平均165台に回復してきました。階段事業は、東京本社を軸に大阪、名古屋、北関東、仙台の各営業所で展開していますが、北関東や仙台のケースをみても、地元にとりだけ密着したサービス・メンテナンス体制を敷くかがポイントになります。

そうした点からも、1年以内に九州地区に営業所を新設する予定です。その後、中国地区の広島か岡山、さらに札幌や横浜などにも進出してスチール製リビング階段の全国展開を図っていく計画があります。

KATZDEN ARCHITECT

WAVES

スチール階段 PAT.P

大好評! 図面を無料でダウンロード <http://www.kdat.jp>

カツデンアーキテック株式会社

東京本社	TEL: 03-5812-2295	FAX: 03-5812-2297
大阪営業所	TEL: 06-6345-2415	FAX: 06-6345-2416
名古屋営業所	TEL: 052-202-1266	FAX: 052-202-1277
北関東営業所	TEL: 0495-76-3675	FAX: 0495-76-3896
仙台営業所	TEL: 022-390-0121	FAX: 022-390-0124

【環境・健康建材コーナー】

YKK AP

官民合同の熱中症予防声かけプロジェクトに参画、「MADO ショップ」全店で「涼活」プロジェクト2013を展開

YKK AP (堀秀充社長)は、官民合同「熱中症予防声かけプロジェクト」に参画し、「MADO ショップ」“涼活”プロジェクト2013を実施した。

「ひと涼みしよう」と声を掛け合い、コミュニケーションの力で、熱中症予防による死亡者ゼロを目指す国民運動に、1000店を超える「MADOショップ」が参画したもので、住宅リフォーム業界として初めて“涼活”を絡めた販促活動を行なっている。

「MADOショップ」は、涼活につながる店づくりを通じて“まちの避暑地”となり、夏の暑さに効果的な窓リフォームを提案する。また、店舗には、涼感アロマ「クールフィール」紹介コーナーが新設されたほか、規模の大きな店舗では涼活に関するアロマ教室や子供の自由研究むけにエコハウス作りなどのイベントを開催している。こうした取り組みを通じて、夏季期間(7月～9月)の「MADOショップ」へ来店者数は、前年同期比30%増をめざしている。

アルミインテリア建材 NEW「スクリーンパーティション」9デザイン

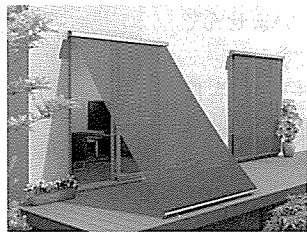
YKK APは、アルミインテリア建材NEW「スクリーンパーティション」を発売した。開閉時にゆっくり確実に引き込むダブルクローズを標準採用するとともに、室内引戸を新たに設定するなどリニューアルしたもの。



アイテムは、室内引戸のラウンドレールタイプ/上吊りタイプ。間仕切りスライディングタイプのラウンドレールタイプ/上吊りタイプ。モダンから現代和風まで様々なスタイルに調和する全9デザイン。カラーバリエーションは、「ラフォレスト」と連動する木調フレーム7色とアルマイトフレーム3色。

LIXIL

日射遮蔽商品の高成長続く、2010年比販売外付スクリーン約3倍、オーニング約1.5倍



LIXIL (藤森義明社長)は、節電意識の高まりもあり、日射遮蔽商品の販売が大きな伸びを示している。

とくに、現代の“すだれ”外付スクリーンの人気が高い。窓から太陽熱を約78%遮り、年間冷房代を約16%節約できる外付スクリーン「スタイルシェード」が2010年比で約3倍、冷房の稼働率を約33%削減できるオーニング「彩風」が約1.5倍の高い伸びをつづけている。

窓の内側で熱を遮る内窓「インプラス」(遮熱タイプ)や、遮熱カー

テン「ブランシェ」などと組み合わせた日射遮熱対策も浸透をつよめている。

「LIXILデザインコンテスト2013」の応募作品募集10月31日締切

LIXILは、新しい時代の要望に応えた上質な住空間を対象にした「LIXILデザインコンテスト2013」の応募作品募集を9月1日から開始、10月31日までおこなわれる。

トステム、INAX、新日軽、サンウエーブ、TOEXブランドのLIXIL商品を使用し、2012年5月1日から2013年10月31日までに新築または改築した日本国内の住宅が対象。応募作品の設計者グループに応募資格がある。

審査委員長はインテリアデザイナーの内田繁氏。来年2月4日予定の公開二次審査会で金・銀・銅賞を決定する。金賞1点(賞金100万円)、銀賞2点(30万円)、銅賞3点(20万円)、審査委員特別賞3点(10万円)、入賞10点(10万円)。応募詳細はホームページ。http://www.lixil.co.jp/design-contest/

アート技研工業

12月末まで「創立50周年10%OFF感謝セール」実施中、高強度高意匠の「庇マート」/「ロートアルミ」等が対象商品



ビル・住宅用ひさし専門メーカー(庇マート)として今年で創立50

周年を迎えた、アート技研工業(芝辻栄一郎社長、兵庫県姫路市飾磨区上野田2-28、電話079-235-7222)は、今年12月末まで「創立50周年10%OFF感謝セール」を実施している。

主力商品の「e-art ONLY ONE 庇」シリーズには、300kgの荷重を支えるスチールトラスアーム内蔵のアルミ複合材庇「AFV301-3000」(出幅2000mmまでアームレス対応、出幅～3000mm×W∞無限大)や、先端流しタイプのアルミ型材庇30T/mmの「ALF301・302-3000(トラスアームブラケットタイプ)」などの高強度タイプを投入、バリエーションが強化された。

また、シンプルな意匠性が印象的なFLAT Visor30T/mmシリーズに「AFV30」(アルミ複合材庇)・「AFV30」(アルミハニカム庇)、高意匠性・高強度で人気のHONEYCOMB FLAT Visorシリーズに「AFHV501」、同じく玄関庇に最適な「AFHV862」などを新発売した。

さらに、GLASS Visorシリーズに、12mm強化合わせガラス使用の「AGV-4-2」、スチールトラスアーム吊下げタイプのガラスひさし「AGAT1-3000-1・2」などを追加し、最新デザインへの対応を強めている。

これらのアルミ型材庇6タイプ・フラットバイザー19タイプ・ガラス庇12タイプ・支持アーム3タイプのすべてが、「10%OFF感謝セール」の対象商品。

同時に、高品質・高意匠な本物の鍛造技術による「ロートアルミ/ロートアイアン」シリーズも、「10%OFF感謝セール」を実施している。

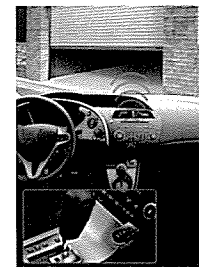
ロートアルミパネルや装飾面格子、ロートアルミフェンスをはじめ、

ロートアルミフラワーボックス・窓手摺4タイプ、ロートアルミ手すり2タイプ、ロートアルミ飾り1タイプなどを、対象商品としている。

文化シャッター

エンジンをかけるだけでシャッターが自動で上昇する業界初の車載用自動開閉リモコンの「セレクルーズ」新発売

文化シャッター(茂木哲哉社長)は、リモコン操作が不要な業界初の車載用自動開閉



リモコン「セレクルーズ」を新開発、7月1日発売を開始した。

「セレクルーズ」は、車の出入庫にあわせてガレージシャッターを自動開閉するもので、現在、設置している住宅用電動ガレージシャッターの受信機に登録するだけで使用できる。

電源の車内シガーソケット(内径20.9～22.0mmの国産車・輸入車)に差し込むとスタンバイ状態となり、エンジンのON・OFFに合わせて「セレクルーズ」の電源も連動するために駐車時には消費電力は発生しない。

出庫時はエンジンをかけるとシャッターが自動で上昇、シャッターから離れると自動で降下する。入庫時は近づくと自動で上昇、エンジンを切ると自動で降下するシステム。実用到達距離は10～50m程度。IDコード約1677万通り。

「セレクルーズ」は直径10cm程度のコンパクト設計で黒を基調と

したデザイン。シャッター開閉時には視認性の高いブルーのLEDライトが光る「お知らせ機能」が付いている。

対応機種は、同社の軽量シャッターの「エスプリ」「小町様」「御前様」「ポルティエ」「モートR」「モートW」。無線リモコンシステム「セレカードⅢ」の設置が条件となる。電動シャッターには必ず光電センサ(車輻接触防止用障害物感知装置)を設置する必要もある。「セレクルーズ」本体の参考価格は2万9400円(消費税込)。別途受信機への登録料が必要になる。

久米工業

最大間口9m・耐積雪20Cm・4台駐車・4本柱タイプの折板カーポート「WILL PORT」を新開発



久米工業(久米隆嗣社長)は、折板カーポートシリーズの新商品「WILL PORT」を開発、拡販に取り組んでいる。

新型「WILL PORT」の特長は、シャープなフォルムの「フレンジ破風」デザインを追加し、モダンから和風まで様々なスタイルに対応する。従来の「レオン破風」との選択も可能。

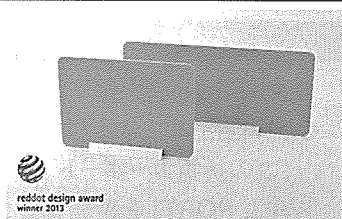
また、最大間口9m×奥行6mの大空間に対応する一体型桁(ホロー材)のラージ桁(140×290mm)を開発し、従来のトラス桁に比べてすっきりとした外観を実現した。

従来のトラス桁の場合、大型折板カーポートは、間口8m・6本柱であったが、新型では4台駐車可能な9m・4本柱(耐積雪20cm相当)を実現した。

本体カラーは、ステンカラー、ブラック、ブラウンの3色。折板屋根にガルバリウム折板、ポリカ折板(クリア)を使用する。

森田アルミ工業

デスクパーティション「パティス」で世界三大デザイン賞「レッド・ドット・デザイン賞(プロダクトデザイン)」受賞



森田アルミ工業(森田和信社長)は7月1日、昨年春発売したデスクパーティション「patis(パティス)」で、世界三大デザイン賞のひとつである「レッド・ドット・デザイン賞(プロダクトデザイン)」を受賞した。「2012年度グッドデザイン賞」、「2012年度アジアデザイン賞・メリット賞」に引き続いての受賞となった。

審査員は、自由にオフィスの作業空間を仕切るという目的に対してシンプルな解決策を提唱している。シンプルで控えめなデザインがむしろ空間の中で美しい存在感を主張しているとの評価を得た。

「パティス」は、ベースのアルミと、硬質発泡材パネルにパイルコーティングを施したパネルの構成。オフィス環境でのメンタルの向上を考えたスタンド型のデスク用パーティションとして開発されたもの。

住軽日軽エンジニアリング

アルミ製ソーラーパネル架台「アルソルメガ」、責任施工で受注を拡大

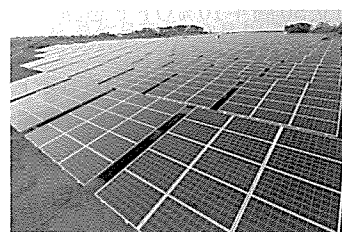
住軽日軽エンジニアリング(佐久間勇三社長)は、当面は厳しい環境がつづくと思いつつも、2年連続の売上高の減少傾向に楔を打ち込むことを最重要課題とする今年度(25年度)販売計画をまとめた。

販売計画は、売上高137億円(13.5%増)、営業利益8億3000万円(37%増)、経常利益8億3000万円(37%増)、当期利益5億円(34.8%増)。

部門別売上高は、道路・橋梁56億4000万円(前年度実績48億円)、都市景観29億8000万円(24億2000万円)、上下水13億2000万円(5億4000万円)、建築13億円(14億2000万円)、溶接構造物24億7000万円(29億円)。

24年度決算は売上高120億7000万円(5.9%減)、営業利益6億1000万円(37.0%減)の減収減益。その大きな要因を占めた道路・橋梁部門では、橋梁長寿命化対策のアルミ合金製検査路「ケーロ」、高架橋の壁高欄用アルミ合金製RC型枠・残存型枠「アルツォ」、鉄道踏切信号機の「信号柱」等の新製品拡販を通じて巻き返しをはかる。都市景観部門は、前年度減収要因の期ズレ解消で増収を見込む。

一気に7億7000万円の増収を計画する上下水部門は、アルミ合金製ソーラー架台「アルソル」「アルソルメガ」の拡販を見込



だもの。すでに北海道・苫小牧市の三井不動産(23.8MW)への「アルソルメガ」(440トン)納入が決まっている。アルミ合金製架台は、三重大学(三重県)宇佐市民間(大分県)、ユアサ山口(山口県)に納入しているが、同社の強みはエンジニアリング力、責任施工体制にあると引き続いての成長に自信をもつ。

* *

◇主な物件例——①「武蔵浦和駅第一街区デッキ」(高欄・桁カバー・ガラス・シェルター。アルミ使用量38.4トン)。②「東京駅丸の内駅舎エントランス庇」(アルミハニカムパネル、1230㎡・31トン)。③「長崎平和公園エスカレート屋根」(アルミハニカムパネル、430㎡・11トン)。④「大阪府立東住吉総合高等学校」(耐震補強アルミプレース、42トン)。

◇新製品施工例——「大分県宇佐市内メガソーラー」(1.5MW、パネル架台18トン)／「佐保川橋(西名阪自動車道)検査路」(377m・23トン)／「広島高速3号線アルミ残存型枠」(アルツォ・5トン)／「踏切信号機」(アルミ支柱)。

民間マンションを中心に需要を掘り起こす

特集1 「窓改修」・「改修用玄関ドア」市場

リーマンショック後、ビル用建材の改修事業を本格化、「窓改修」を軸にドア、外装、手すりの改修事業展開

ビル建材分野では、新築着工を補うリニューアル需要の掘りおこしに力を注いでいる。サッシ、ドア、手すり、外装などのビル建材メーカーで構成される「建築改装協会」(賀東隆会長)を中心に展開する。「建築改装協会」のまとめた中長期予測では、2012年度838億円、2014年度941億円、2017年度950億円、2021年度1142億円を見込んでいる。

昨年度(2012年度)売上高は823億6300万円と、中長期予想を若干下まわったが、前年度比6%増加した。復興支援住宅エコポイントの影響と耐震工事の増加に後押しされたとみている。同協会の共通テーマとしては、直契約比率の拡大を掲げる。

昨年度のアイテム別売上高をみると、窓479億円(前年度比11.3%増)、ドア125億9100万円(20.5%減)、外装23億1500万円(45.1%増)、手すり37億1300万円(6.0%増)。

面格子2億5300万円(13%増)、フロント124億2900万円(15%増)、内装6億2500万円(5%増)、補修25億3700万円(20%増)。窓、外装、フロントが予想を上まわった。

用途別にみると、学校193億6900万円(構成比23.5%)、住居ビル298億8000万円(同36.3%)、一般ビル232億9800万円(同28.3%)、病院54億2600万円(同6.6%)、庁舎43億9000万円(5.3%)と、いずれも増加している。テーマの直契約比率は、住居ビルで19%と高まってきている。

「建築改装協会」、2012年度の売上高823億6300万円、「窓改修」60%弱、

売上高の60%弱を占めている「窓改修」事業は、三協立山、不二サッシ、LIXIL、YKKAPの4社が進める。

窓改修は、ST→AL10億8900万円(前年度比43.8%減)、AL→AL466億0900万円(14.4%増)、浴室2億0200万円(42.0%減)。対象92万6000戸のST→AL改修をほぼ終えて、対象約100万戸とも推定されているAL→AL改修を主力

商品に展開されている。

用途別にみると、各社の力の入れ所に違いがあるもののマンションら居住ビルが40～50%を占める。学校、一般ビルが20～30%、これに官公庁、病院がつづいている。

窓改修工法としては、三協立山「HOOK SLIM」、不二サッシ「RE工法」、LIXIL「PROSE・RF」、YKKAP「GRAF工法」を主力商品として展開する。

窓改修工事は、断熱性、防露性、遮音性を向上させて、快適な住空間を創出することがセールスポイント。とくに、断熱改修への対応が求められており、各社とも空気層12mm・複層ガラス仕様を品揃えする。

そのほかにも、従来の有効開口幅を確保すること、下枠との段差を抑えたバリアフリー仕様であること、住まいながら短時間に工事を終えることなどがポイントになる。

「改修用玄関ドア」125億9100万円と予想を下まわる、居住玄関ドアは50億6000万円ではぼ横ばいで推移

窓改修につづき、「改修用玄関ドア」の取り組みを強化している。改修玄関ドア分野には、大手サッシ系の三協立山、LIXIL、YKKAP、シャッタードア系の三和アルミ工業、三和シャッター工業、日本フネン、文化シャッター、モリテックインターナショナル、LIXIL鈴木シャッターらが参入する。

2012年度ドア改修全体では125億9100万円と、当初予想の152億円を下まわった。このうち居住用は64億4500万円、その他(軽量ドア・重量ドア)が61億4600万円。

居住ビルの内、玄関ドアは50億6000万円とほぼ横ばい、扉本体が6億1800万円(28.5%減)、その他7億6700万円(95.1%増)であった。また、軽量ドア27億1500万円(23.9%減)、重量ドア34億3100万円(39.9%減)。

改修用玄関ドアでは、防犯性、断熱性、遮音性、操作性、耐震性へのニーズが高い。マンションの改修工事では、窓改修と同様に住民の高齢化に配慮したプッシュプルハンドル錠への取替えなど、操作

性、バリアフリー対応が求められる。

「窓・玄関ドア改修」売上高約543億円、YKKAP約218億円、LIXIL約216億円でリード

窓・玄関ドアの改修分野は、マンションなど集合住宅の居住ビルを主力に展開している。居住用ビル分野では、三協立山、不二サッシ、LIXIL、YKKAPが主導権を握っている。

両分野を合わせると、2012年度売上高は約543億円と推定される。YKKAPが約218億円・シェア40.1%、LIXILが約216億円・シェア39.8%でリードする。

これらの中に含まれていないが、住宅エコポイントで急増した「樹脂内窓」も、ビルリフォーム商品のひとつとして期待されている。「樹脂内窓」は、北海道などの寒冷地の集合住宅では新築時から採用されているが、大都市部のマンションなどでは防音・断熱効果を高めるために後付けされるケースがおおい。エコポイント終了後、販売数は減少したとはいえ、断熱リフォームの主要なアイテムのひとつとして成長を見込んでいる。

三協立山

マンション向け窓改修工法「HOOK SLIM」軸に展開、ローコストで高断熱の樹脂内窓「プラメイクE」に期待

【ビル・マンション改装用窓・玄関ドア】■改装サッシ——◆マンション向け「HOOK SLIM」：ノンシールによる工期短縮・改修費の軽減、部材・部品点数の削減でローコスト化、サッシ見付のスリム化・改修前に近い有効開口の確保などが特長。◆ビル向け「MTGカバー工法」：様々な改修バリエーションに対応できる。■改修玄関ドア——◆「シンプルカバー工法」：施工・調整時間を短縮した簡易な施工方法が特長。防犯性、耐震性、バリアフリー対応など最新のニーズに対応する。

■関連商品——◆後付樹脂内窓「プラメイクE」：外窓改修よりもローコストで、断熱性・遮音性の高い快適な室内空間を実現できる点が大きな特長。引違い窓に偏芯タイプや3枚建タイプを追加し、マンションなど集合住宅への対応を強化した。

【現況】現在の窓改修工事は、AL→AL改修

がほぼ100%占めている。用途別には、マンションら居住向け37%、学校29%、一般ビル21%、官公庁10%、病院3%の比率。

民間マンションなど集合住宅が、窓改修の主な対象になっている。マンション向けには、居住者が住まいながら工事ができて、工期短縮・改修費の軽減、ローコスト化、改修前に近い有効開口の確保できる「HOOK SLIM」工法で対応する。性能面では、複層ガラス仕様の断熱サッシの採用が高まっている。

断熱・遮音性能を高めるといふ点では、いま戸建住宅を中心に展開されている樹脂内窓「プラメイクE」の集合住宅へ拡販が期待される。

不二サッシ

「Super70」シリーズの空気層12mm・複層ガラス仕様、ノンシールの口ーコスト工法「FNS-RE II」軸に展開

【ビル・マンション改装用窓の現況】■商品構成——◆リフォームサッシ「FNS-RE II」：カバー工法（RE工法）。ノンシールでも気密性・水密性を確保、施工時間を大幅に短縮し、居住者への負担を軽減したローコスト工法。「Super70」シリーズの空気層12mm・複層ガラス仕様。ユニバーサルデザインの「下枠フラットサッシ」（RE工法）を標準設定。◆オリジナル工法「リサッシ工法」：同社のKJ-Bサッシに対応。障子を取り替ええるだけの工法。◆カバー工法「一般カバー工法」：浴室やトイレなど様々な窓種に対応する。ビス止め方式と溶接方式の2つ。ガラス溝幅36mm。

窓改修事業は、不二サッシ営業本部・支店と、東京・大阪に拠点を置くリニューール専門の不二サッシリニューールで進める。ノンシールのカバー工法（RE工法）「FNS-RE II」が主力商品。

用途別には、マンションら居住用45%、一般ビル33%、学校14%、官公庁5%、病院3%の販売比率。性能的には、断熱性・防露性への要望がおおい。マンションら集合住宅向けでは、空気層12mmの複層ガラス仕様が当たり前になりつつある。

一般ビルや学校などでは、あらゆる開口に対応できる「一般カバー工法」が採用される。今後、予想されるビル窓改修の主力商品として、成長が期待されている。

LIXIL

集合住宅向け「PRO-SE・RF」（ドライシール仕様）を軸にマンションの断熱改修工事の需要獲得を進める

【ビル・マンション改装用窓・玄関ドア】■改装サッシ——◆「PRO-SE・RF」（ドライシール仕様、集合住宅）／「PRO-SE・RFS」（ウェットシール仕様、一般ビル・店舗・学校・集合住宅）——はめ込み式内部額縁、細い見付、引違い窓ガラス溝幅17・22・30・36mmの4種類。床との段差3mmの下枠納まり、カバー工法専用枠を採用。

断熱性能は、枠見込70mm・ガラス溝36mmの空気層12mm複層ガラス仕様でH-2等級。樹脂製額縁結露防止。遮音性能は、単板ガラス6mm以上でT-2等級（30dB）。防犯性、換気機能、スリムな見付40mmの召し合せかまち、ユニバーサルデザインの把手なども特長。1窓あたり最短30分を実現。

■関連商品——◆防音・断熱内窓「インプラス」：戸建住宅から集合住宅・一般ビルまで販売対象を拡大。◆縦型換気ユニット「Segel Window（シーガルウィンドウ）」：キッズデザイン賞を受賞。学校施設優良部品認定品。開口部寸法を110mmとして、乳幼児でも転落の恐れのない自然換気窓。小さな開口幅の窓でも給排気が可能な開閉形式の窓。◆「網付面格子」（網戸と面格子を一体化）／換気口用消音ボックス「クレール」等。

◆改修玄関ドア——◆「REFORM door（リフォームドア）」（LIXIL 鈴木シャッター）：かぶせ工法の新工法「シンプルカバー工法」：従来よりも施工時間30分短縮。そのほかに、「持ち出し工法」（狭まりを少なくしたカバー工法）、「カバー工法」（一般的な工法）、「狭まりゼロ工法」（W方向の有効開口が変わらない）を用意。

【現況】窓改修工法では、集合住宅向けの「PRO-SE・RF」（ドライシール仕様）、集合住宅を含む一般ビル・店舗・学校向けの「PRO-SE・RFS」（ウェットシール仕様）を中心に展開する。既存サッシのレールを切断せずにフラット化を実現し、居住者への負担を軽減する短い時間で、開口部の性能を大幅にアップできる点がセールスポイント。

窓改修は、AL→AL改修94%、ST→AL改

修6%とほとんどがAL→AL改修工事。用途別には、マンションら居住用60%を中心に、学校23%、一般ビル10%、病院・官公庁・その他7%の比率。民間マンションを主なターゲットに、断熱改修工事の需要拡大に力を注いでいる。

性能面では、枠見込70mm・ガラス溝36mmの空気層12mm複層ガラス仕様「PRO-SE・RF」で、断熱改修ニーズに答えている。マンションの窓改修では空気層12mm複層ガラス仕様がほぼ100%採用されている。

マンションら集合住宅の断熱改修ニーズには、防音・断熱内窓「インプラス」や改修玄関ドアなどを含めたトータル提案で需要獲得を進めていく。

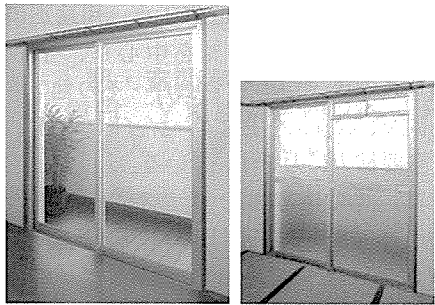
YKKAP

窓改修「GRAF工法商品」、マンション、学校、一般ビルに実績を上げる、改修玄関ドアの受注も増加傾向

【ビル・マンション改装用窓・玄関ドア】■窓改修——◆2004年度から「GRAF工法商品」を投入。従来の「かぶせ工法商品」に代わるもので、「早い・きれい・しずか」をセールスポイントに、全国の民間・UR都市機構・公共住宅に豊富な実績を残している。「GRAF工法」は、既設窓の下枠レールをカットし新たな窓をかぶせる工法で、既設窓の開口を極力狭めることなく窓改修が行なえることが特長。また、騒音・粉塵を抑制したスピード施工で、住人が居ながらの窓改修も可能。窓種に、節電・省エネに効果的な自然換気が容易におこなえる換気小窓「内倒し型窓」を追加した。

■改修用玄関ドア——◆商品バリエーション：「R's SDX」／「EXIMA80St」の2シリーズ。工事は、住まいながらの改修に配慮し、既存の枠を取り外さない1戸あたり約100分のスピード施工が特長。汎用性の高い「カバー工法」、従来通りの通行幅を確保する「持ち出し工法」、扉のみを一新する「扉交換工法」を用意。

商品的には、防犯性を基本に、快適さを向上させる断熱性、遮音性が欠かされていない。また、マンション住人の高齢化に対応した、開閉しやすいプッシュプルグリップ錠など操作性に配慮した部品も好評。さらに、近年、耐震性への要望が増加し、「耐震防犯仕様」で対応する。



YKK AP・開口幅が変わらないエクシマZOSGR(GRAF)工法、左：施工後・右：施工前

■関連商品——◆エコ内窓「プラマードU」の地域別販売割合は、IV～V地域 92%、Ⅲ地域6%、I～II地域2%。住宅エコポイント終了後、販売量は落ちると想定。ただ、節電意識の高まりで、省エネ改修の需要は継続するとの見方。

【現況】 従来の「かぶせ工法商品」に代わる、窓改修の主力商品「GRAF工法商品」は、「早い

きれい・しずか」をセールスポイントに深く浸透する。すでに、全国の民間・UR都市機構・公共住宅に豊富な実績を残している。

販売傾向をみると、AL→AL窓改修 95%、ST→AL窓改修 5%。用途別には、マンション・居住向け 38%、学校 31%、一般ビル 21%、病院、官公庁がそれぞれ5%ずつの比率。

マンションら集合住宅、学校、一般ビルを中心に展開する。性能面では、断熱性、防露、遮音性の向上を求めるニーズがおおい。

一方、改修用玄関ドアの販売実績も、確実に伸ばしつつある。防犯性に加えて断熱性、遮音性、また、マンション住民の高齢化に対応したバリアフリー対応の錠や操作部品、さらには近年の耐震性への要望など、多様化する改修ニーズに対応した商品バリエーションを強化している。

健康な空気のある住まいづくりの最高グレードの

特集 2 商品として浸透する「珪藻土配合塗り壁・天井材」

吸放湿機能、ホルムアルデヒド吸着・分解機能、悪臭吸着機能などを確かな実験で実証して初めて信頼される

化学物質による健康被害をなくすために 2003 年改正建築基準法では、ホルムアルデヒド発散建材の使用が規制された。最近の内装材、家具、インテリア、壁紙等は、F☆☆☆☆に切り替えられている。

化学物質は、防蟻剤・防腐剤、合板製造の接着剤、クロス貼りの接着剤、樹脂建材の可塑剤などに使われている。住宅の室内空気環境を清浄に保つためには、換気装置の設置が不可欠となった。仮に、有害な化学物質を含んだ建材を使用した場合、24 時間換気しても健康な空気環境を得ることはできないばかりか、エネルギーロスの大きな原因ともなりかねない。「珪藻土配合塗り壁・天井材」は、こうした悩みを解決する内装材として紹介され、ブームを呼び起こした。

高い評価を得た機能は、何よりもホルムアルデヒ

ドなど有害物質を吸着する機能、室内の湿度を一定にたもつ吸放湿機能、さらにペット臭などの悪臭吸着機能である。それまでのビニルクロスに代表される内装材には機能であり、空気環境に敏感なユーザーを中心に急速にひろがった。

そのほかにも、吸音効果、遠赤外線効果、電磁波シールド効果、CO₂吸着、断熱性能、防火性など、数々の特性をもつ塗り壁材として高く評価されている。

珪藻土ブームの中で、珪藻土配合をセールスポイントにする数多くの商品が市場に現われた。同時にそれらの商品の信頼度への関心も高まった。それらの商品に表示されている試験データは、正規の機関で行なわれたものなのか、あるいは珪藻土の配合量や施工面積によって効果にはどの程度違いがあるかなど、より詳細な製品情報の開示が求められる。

例えば、セールスポイントのひとつである吸放湿機能や有害物質を吸着する機能は、珪藻土に限らず多孔質細孔をもつ素材には備わっている性質で

ある。100%自然素材の「しっくい」や「シラス」、「ゼオライト」などが挙げられる。

100%自然素材のみの場合、吸放湿機能や有害物質を吸着する機能はもちろんあるが、ホルムアルデヒド分解・無害化機能、つまり放湿の際には無害化されている機能までは備わっていない。

ホルムアルデヒドの吸着機能のみの商品と、吸着・分解機能もった商品には大きな違いがある。どのように分解・無害化するかは企業秘密で明らかにされることはないが、信頼できる実験データであれば、その効果は確認できる。

「珪藻土配合塗り壁材」、四国化成、フジワラ化学が市場をリード、ランニングコストでの優位性を強調

「珪藻土配合塗り壁材」を扱うメーカーはおおいが、塗り壁材のトップメーカーの四国化成工業が 110 万㎡、珪藻土配合塗り壁材で成長を遂げたフジワラ化学が 100 万㎡で、珪藻土配合塗り壁材市場をリードする。

珪藻土配合塗り壁材以外にも、様々な健康建材・調湿建材が商品化されている。たとえば、内装建材の最大手である大建工業は、調湿壁材「さらりあーと」でホルムアルデヒド吸着・分解機能、調湿機能付天井材の「イオニカ」「リビングトーン 12」を発売する。LIXIL は、セラミック素材の「エコカラット」を発売する。

室内の空気環境を清浄に保つには、吸放湿効果やホルムアルデヒド吸着・分解機能のある天井材を採用すると効果が高まるとされる。

そうした中で、四国化成工業は、けいそう壁、備長炭壁、しっくい壁などの健康壁と共に、備長炭と珪藻土の機能を活かした高機能天井材「さやか天井」や「けいそうモダンコート天井」「けいそうリフォーム天井」を発売するなど、バリエーションを強化している。

四国化成は、高機能健康建材と認知しながら採用に踏み切らない理由に塗り壁＝高コストとの誤解があると指摘する。同社のシミュレーションによれば、塗り壁（けいそうモダンコート内装下地処理＋仕上げ）の費用は新築時 4300 円、一般的な珪藻クロスは 1890 円（貼り代）と、珪藻クロスが安価ですむ。

ただし、その後リフォームを 2 回おこなうと、塗

り壁のうえからローラで塗るだけの同社の「エコ美ウォール」を使うと、新築時の費用を含めて 5900 円ですむ。一方、剥がし代＋貼り代の珪藻クロスは 6130 円と試算できるから、リフォームコストを考えると、塗り壁はコスト面でもクロス貼りよりも優位にたつと強調している。

四国化成工業

安全で質のよい空気環境づくりに最適な「珪藻土配合塗り壁」拡大、けいそう壁・天井材トータル提案

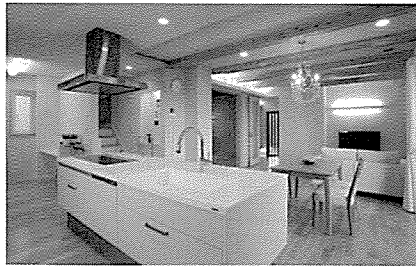
【内装材】□塗り壁（健康な空気をつくる呼吸する壁。全商品 F☆☆☆☆）——■調湿＋ホルムアルデヒド吸着・分解機能を有する商品——◆「けいそう壁」：けいそうモダンコート内装・けいそうモダンコート内装シルキー・けいそうモダンコートフラット・けいそうモダンコート直塗り・けいそうリフォーム・テンドートップけいそう・けいそうジュラックス土壁等。

■調湿機能をもつ商品——◆「けいそう壁」：けいそうファームコート内装・けいそう聚楽・けいそう砂壁等。■調湿＋ホルムアルデヒド吸着・分解＋悪臭吸着・分解＋遠赤外線機能を有する商品——◆「備長炭壁」：さやかシルキー、さやか（吸音・遮音機能も付加）、さやか備長炭 100（電磁波シールド機能も付加）。■調湿＋ホルムアルデヒド吸着・分解＋悪臭吸着・分解機能を有する商品——◆「天井材」：けいそうモダンコート天井、けいそうリフォーム天井、さやか天井（吸音・遮音機能、遠赤外線効果も付加）。■ホルムアルデヒド吸着＋CO₂吸着＋抗菌機能——◆「しっくい壁」：ネオしっくい、ネオしっくいクリーム。

■バリエーション——◆「リフォーム塗料」：エコ美ウォール（透湿タイプ）／「メタリック壁」：メタルファス／「速乾性厚塗り壁」／「聚楽壁」／「ガラスビーズ壁」／「砂壁」／「耐水壁」等。

【現況】 塗り壁・内装材のリーディングカンパニーとして、長年にわたり業界をリードする。呼吸する健康壁のトップブランド「けいそう壁」シリーズは、確かな技術と試験データに裏打ちされたホルムアルデヒド吸着・分解機能をセールスポイントに、「けいそう壁」ブームを呼び起こし、ユーザーの塗り壁材への関心を高めてきた。

塗り壁へのユーザーの信頼をゆるぎないものにす



四国化成「1階部のオープンフロアの「けいそうリフォームコート内装・天井」施工例

るために、徹底したチェックが行なっている。そのひとつとして、6畳サイズの実験室をつくり「ホルムアルデヒドガスの24時間継続注入の実証実験」をおこなっている。ビニルクロスの上から施工できる「けいそうリフォーム」+「けいそうリフォーム天井」を施工した実験では、ホルムアルデヒドが88.6%減少、また「テンドアトップ」+「けいそうリフォーム天井」施工の場合91.4%減少との結果を得ている。また、珪藻土配合の塗り壁には、閉鎖環境においてホルムアルデヒドを約1時間でゼロにすること、ペット臭などの悪臭は15～30分で吸着・分解さ

れること、湿度のコントロール機能があり、カビ・ダニの発生を軽減する効果があることを実証している。塗り壁は、日本の気候風土にもっとも適した仕上げ材であり、空気質を安全なものにすることができることを大きなセールスポイントにしている。

さらに、塗り壁＝高コストとの見方には誤解があると指摘する。新築時には珪藻土クロスに優位性があるが、リフォーム時には、「塗り壁」+「エコ美ウォール(透湿タイプ)」を使うことで、塗り壁の機能・美しさを損なわず、コストも安く抑えられることを強調する。

塗り壁の販売傾向をみると、珪藻土配合塗り壁材は、居住向けが90%、非居住向け10%と、一般住宅を中心に展開する。新築は60%、リフォームが40%の比率だが、リフォーム向けの採用が増えてきているようだ。

今後、高気密高断熱住宅の増加と共に、安全で質のよい室内空気環境を求める動きが活発化することが予想されており、「珪藻土配合塗り壁」の拡大が期待できる。

「健康・エコ・バリアフリー」をテーマに快適空間を提案する木質内装建材／アルミ内装建材

特集3

リビングを核にしたライフスタイル増加、若い世代を中心にリビング階段を設置した間取プラン人気

最近のライフスタイルはリビングを核としたプランがおおい。従来の間取りプランとの大きな違いは、リビング階段の設置の有無によって感じ取れる。玄関部から直接、2階の居室に向うのではなく、いったんリビングを経由する動線である。

家族や子どもの日々の状況を把握し、コミュニケーションの機会をふやす動線設計である。最近では、子どもの学習の場をキッチンやリビングの一角に設けるなどのプランが提案され、その学習効果の大きさが話題にもなっている。

リビング階段の設置には、一定のひろさをもったオープンな空間が必要になる。キッチンやリビング、居室を個々に仕切らないオープンフロアスタイルである。

オープンな室内空間は、自然の光や風を取り入れた節電・省エネ対策や外部と連続した空間づくりに向いている。そのためにリビング階段も、その存在が出来るかぎり邪魔にならないようにシースルー感覚のデザイン性に人気がある。

こうした新しいライフスタイルは、若い世代を中心に受け入れられているようで、大手ハウスメーカーではリビング階段の設置が、玄関階段をおおきく上まわっている。

木質内装建材 9000億～1兆円市場 大建工業約870億円で業界をリード

住宅の内装建材は、床材、壁・天井材、階段、室内ドア・引戸、各種収納、間仕切、各種造作材などで構成される。こうした内装建材は、改正建築基準法施行後、F☆☆☆☆に切り替えられ、「健康住宅」の要件を満たしている。

オープンフロアやリビング階段に着目すると、木質内装建材の主要な部位である床材と階段の占める役割が、これまで以上にデザイン・機能性が重要視される。また、室内ドア・引戸、間仕切などの建具類には、採光・採風、バリアフリーの視点に立った高機能性が求められている。さらに、すべての内装建材をデザインコーディネートした商品構成力が、販売量を左右することにもなる。

内装建材市場は、9000億～1兆円市場と想定されている。床材、ドア・引戸、収納などの住空間事業と天井材・MDFなどのエコ事業を展開する大建工業が約870億円で業界をリードする。大建工業の強さは、売上全体の半数を超える床材・天井材にあり、新商品開発力・構成力に支えられている。売上高600億～500億円台でパナソニックソリューションズ社、ウッドワン、永大産業、ノダ、LIXILらが上位を形成している。

アルミインテリア建材、デザイン性、操作性、機能性等を取り入れたドア・引戸、収納等を軸に展開

上位メーカーは、床材・天井材、階段などを主力商品に展開する。そうした中で、LIXILはドア・引戸、収納などの建具類が主力商品。これは一部商品のOEM供給を受けつつ参入する三協立山やYKKAPにもいえることで、窓まわりの造作材や建具をベースに新規参入したことによる。

もともと三協立山、LIXIL、YKKAPはアルミ建具を取り扱ってきた経緯もあって、アルミのシンプルでシャープなデザイン性、操作性、機能性などを取り入れ、アルミ建材あるいは木や樹脂との複合建材の形で室内ドア・引戸、間仕切などを発売する。

金属製室内建材では、リビング階段がある。従来、現地で仕上げられていた金属製階段をKD化したものだが、カツデンアーキテックが業界初のスチール製リビング階段を商品化したことに始まる。

三協立山

存在感のある天然木柄と見た目や手触りをリアルに再現した特殊シート採用の新フロア「Sフロア」販売好調

【内装建材】■商品構成——◆木質建材「ウッデリアVS」シリーズ：異素材との融合したデザイン

の「セレクトタイプ」全6色と、天然木の風合いや存在感を再現した「スタンダードタイプ」全7色・45デザイン。◆床材「Sフロア」シリーズ。◆アルミインテリア建材「AMiS(アミス)シリーズ」：らせん階段・直線階段・踊り場・手すりユニット、室内ドア・引戸、折戸、固定パーティション、室内アクセント等。

◆インテリア建材「ウッデリアis+」：室内ドア・室内引戸・クローゼット等／「ウッデリアis」：室内ドア・引戸、クローゼット、可動間仕切、玄関収納、室内アクセント等。◆「ウッデリア収納」：収納ユニット(ボックス・埋め込みタイプ)、クローゼット・床下・洗面室・トイレ収納等。

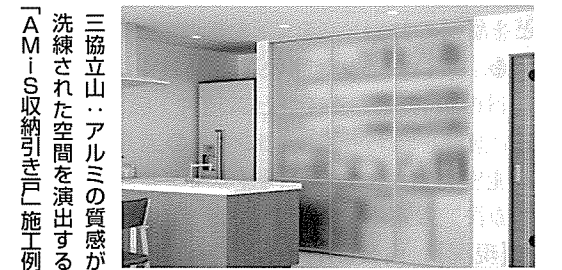
◆「fianns(フィアンズ)」：ナチュラルスタイルの家づくり向けのシリーズ。手摺ユニット(階段用・吹き抜け用・壁付け用)、室内アクセントFIX窓(ステンド調タイプ)、風抜き格子、オープンカウンター、鋳物ハンガー、飾り棚ユニット(木質・アルミタイプ)、勝手口ドア等で構成。◆和風アルミ室内建具「ワデリア」等。

■重点商品——◆新シートフロア「Sフロア」：天然木の存在感のある木柄と、見た目や手触りをリアルに再現した特殊シートを採用。カラー11色、仕上げ加工3タイプ(うづくり・精肌・粗肌の各仕上げ)。／「プレカット階段(シート階段)」：同様のシートを採用し、カラーコーディネートを実現。

◆節電・省エネ対応商品：採光・採風のアルミ固定間仕切「スクリーンU」／木質建材「ウッデリアVS」採風デザイン(扉を閉じたまま採風可能)。

【現況】木質建材「ウッデリアVS」シリーズを主力商品に、ナチュラルなスタイルの家づくりに対応する「フィアンズ」「ウッデリアis+」「ウッデリアis」、アルミインテリア建材「アミス」、和風アルミ室内建具「ワデリア」など、多彩なシリーズを投入する。

販売傾向をみると、ドア・引戸では、横木目デザインや彩度を抑えたナチュラルな色のニーズが高い。



三協立山「アルミの質感が洗練された空間を演出するAMiS収納引き戸」施工例

床材では、無垢材に近づけた木柄の強いシートフロアや突板フロアが流行。新シートフロア「Sフロア」の販売が好調だ。

部位別販売割合は、ドア・引戸 65%、造作材 17%、床材 10%、階段・その他 8%と、建具・造作材を主力商品に展開する。

機能的には、節電・省エネ配慮型商品で、採光・採風による開放的なインテリア空間を実現する「採風ドア」や「間仕切」を発売する。アルミインテリア建材「アミスシリーズ」の室内階段は、採光・採風による開放感のある空間づくりに最適な商品として提案する。

大建工業

日本人の感性に伝える「日本の樹シリーズ」を拡販、吸音・調湿・吸ホルム「ダイロートン天井材」に注目

【内装建材】■重点商品——◆「日本の樹シリーズ」：日本人になじみの深い樹種（杉・栗・柎）をつかい、日本人の感性に伝える建材シリーズ。床材には上記の3種に銀杏・鬼胡桃・沢胡桃をくわえた6種を採用。ドア6デザイン、床、玄関収納、MiSEL（システム収納）、格子間仕切、階段踏板、クローク収納折戸、収納開き戸に、杉・栗・柎の3樹種を基本につかい上質な和モダン空間を演出する。独自のWPC加工でキズに強く、汚れにくい床材も特長。

◆「開き戸」「引戸」「吊戸」には、スリム枠、開き戸ダンパー、消音ラッチ、角を取った安全設計の戸先木口、ショートストロークレバーハンドル、ピボット丁番などを採用し、住まいやすさを追及。

そのほかにも、突板化粧を裏面まで巻き込む仕様の「クローク折戸ユニット/フリー・ピボット兼用（上吊式）」、傷つきにくい特殊塗装カウンター「MiSEL」、安心のラクラクローズ、湿気・悪臭を吸収する「さらりあーと」を標準装備する玄関収納などを品揃えする。

◆「ダイロートン健康快適天井材」：ロックウール基材の吸音板。吸音性と調湿性・吸ホルムアルデヒド機能を合わせもつ1ランク上の天井材。◆調湿機能壁材「さらりあーと」+リモデル断熱下地パネルの快適な室内空間提案。

【現況】 内装建材のトップメーカーとして、快適

な室内空間づくりのための豊富なバリエーションを誇る。そのなかでも「日本の樹シリーズ」は、新たな和モダン空間を実現できる商品として拡販に取り組んでいる。

ドア・引戸ではシンプル・モダンデザイン、サイズの大形化、ソフトクローズ機能の標準搭載。床材では木感覚を活かした本物志向の中・高級品。主寝室・玄関のウォークインクローゼットの増加などを最近の特徴にあげる。

内装建材売上高 900 億円弱の部位別販売割合をみると、床材・天井材が 50%強を主力に、ドア・引戸 20%弱、造作材 10%強、階段・その他 20%弱の比率。内装建材の基本となる床材・天井材でのつよみを活かした展開。これにドア・引戸、クローゼットの建具をくわえて、快適な住まいづくりを演出する。

LIXIL

ウッディーライン「通風建具（ルーバードア・引戸）」でキッズデザイン賞受賞、引き続き「ランマ付ドア」「通風窓」追加

【内装建材】■商品構成——高級品「グランドライン」/中級品「ウッディーライン」/普及品「ファミリーライン」/アルミ素材「アルテシモ」の各シリーズ。■新商品——◆内装リフォーム専用商品「Renova（リノバ）」（特許出願中。既存枠をそのままに簡単にリニューアル専用商品。業界初の部材サイズ長さ 3000mm を採用）：複合樹脂材料の「リノバカバー材」（カッターでカットできる複合樹脂材料で、窓枠・建具枠・幅木等に使用）/「アジャスタブル床造作材」（現場の段差に対応する可動式の床見切り材）/「リノバ建具」（サイズ特注品）等。◆「大開口建具（片引戸）」：有効開口幅 1200mm の業界初の規格品。サービス付き高齢者向け住宅やグループホーム向け商品として新発売。

◆「ウッディーライン」シリーズ：室内ドアのカラーを、クリエカラー 5 色・トレンドカラー 7 色の全 12 色に一新。新デザイン 11 種を加えた全 30 種。2023mm・2400mm のハイドア、「キエテクノコート」の把手、プッシュプルハンドル、セレクトハンドルなどを用意。◆「ウッディーライン」通風建具：「ルーバードア」「ルーバー引戸」につづき、「ランマ付ドア」（中軸回転式開閉、ドア枠高さ 2400mm）と「通風窓」（両開き・突き出し・ランマ用の開閉方式）を追加。



LIXIL：室内を自然の風が通りぬけるウッディーライン「通風建具」ルーバードア

◆床材「ハーモニアス 12」：上質な銘木調デザイン 4 種 18 色にリニューアル。木目タイプのクリエカラー 5 色・キャラクターウッド 3 色・トレンドウッド 5 色、石目柄の素材タイプ 5 色。新 EB 処理で耐久性をアップ。水につよい耐水一類合板を採用。

【現況】 内装建材「ウッディーライン」「ファミリーライン」を主力に展開する。部位別販売割合をみると、ドア・引戸、収納の建具 50%、床材・階段 30%、造作材 20% の比率。業界トップクラスの実績を誇る室内建具を中心に内装建材市場の上位グループの一角を形成する。

自然の風を取り入れた快適な室内空間づくりのために開発されたウッディーラインシリーズの「通風建具（ルーバードア・ルーバー引戸）」は、安心・安全デザインでキッズデザイン賞を受賞するなど高い評価。引き続き「ランマ付ドア」と「通風窓」を追加し、通風建具のバリエーションを強化。同じくキッズデザイン賞の縦型換気ユニット「シーガルウィンドウ」などの開口部商品と連動させた快適な室内空間づくりを提案する。また、床材「ハーモニアス 12」のデザイン性・機能性を高め、システムキッチンや洗面化粧台など水まわり商品ともコーディネートされた上質な空間づくりを提案する。

さらに、内装リフォーム専用商品「リノバ」を新開発した。現場対応力にすぐれた部材設定で、リフォーム需要の拡大を推し進める。

YKK AP

インテリア建材 NEW「ラフォレスタ」天然木の木肌感を忠実に再現する新仕様「木目柄同調コート」採用

【内装建材】■インテリア建材 NEW「ラフォレスタ」——室内ドア・引戸、間仕切、採光ユニット、クローゼットドア、玄関収納、新和風、フローリング（エコ基材・耐キャスター・ワックス不要のタフテクト）、

階段・手すり、カウンター造作材・枠わくサービスの商品構成。近年のトレンドであるナチュラルモダンな空間にあわせて天然木の木肌感を忠実に再現する新仕様「木目柄同調コート」（全 8 色）を採用しフルリニューアルした。

室内ドア・引戸——重厚なたて框の「パーティカル」8 デザイン、シンプルな框組みの「ラスティック」8 デザイン、木目の印象を引き出したシンプル&モダン「スタイリッシュ」22 デザイン、定番デザインの「オーソドックス」7 デザインの全 45 デザイン。室内ドアにピボットを標準採用、ユニバーサルデザインを採用。室内引戸にゆっくり確実に閉まるダブルクローズ標準採用、新形状のラウンドレールとベアリング入り戸車を採用。オプションにチャイルドロック、内蔵ドアストッパー。

■アルミインテリア建材 NEW「スクリーンパーティション」——室内ドア、室内引戸（新設定）、間仕切、採光ユニット、階段（オープンリビング階段）・手すり（ライトスルー手すり）などの構成。

【現況】 インテリア建材「ラフォレスタ」、アルミインテリア建材「スクリーンパーティション」ともリニューアル新発売した。最近の流行である天然木の素材感を再現したナチュラル&モダンに対応する「木目柄同調コート」（全 8 色）がセールスポイント。

また、小さなエネルギーで快適に暮らす「小エネ（ローエネ）で暮らそう」をコンセプトに、窓から取り入れた「光と風」を住宅の隅々に届けるインテリア建材の品揃えも特長。「室内窓」（採光ユニット）、室内ドア「ランマドア」（ルーバー機構のアルミ製ドアと、開き機構の木質製ドアの 2 アイテム）、「扉本体通風機構付き室内ドア」（スクリーンパーティション室内ドア T デザイン。ルーバー付き枠と併用可能）。

内装建材の部位別販売をみると、ドア・引戸 60% を主力に、造作材 20%、床材・天井材 10%、階段・その他 10% の割合。窓関連の造作材をテコに内装建材のトータル受注活動を展開する。

商品構成では、アルミインテリア建材の品揃えがセールスポイントのひとつ。今回のリニューアルによって、木質インテリア「ラフォレスタ」シリーズとの間に互換性を持たせ、さらなる拡大をはかっている。木質建材にはないアルミインテリア建材のシャープな質感、デザイン性を活かした新商品提案に力をそそいでいる。

ナブテスコ

ナブコ自動ドア生産200万台達成
——「先人達の今日の生活に役立つ
製品を生み出した苦勞を忘れない」

ナブテスコ株式会社(小谷和朗社長)・住環境カンパニーは8月26日、神戸市東灘区の甲南工場で「ナブコ自動ドア生産200万台達成記念式典」を行なった。



記念号機を掲げる三代社長

式典には、三代洋右ナブテスコ取締役専務・住環境カンパニー社長、上達政夫住環境カンパニー甲南工場長、村上義彦ナブテスコ労働組合甲南支部執行委員長ら約50人が参加した。最終製造工程のC型抜け止めリングの装着を三代社長が行ないゴールド塗装された「200万台達成記念号機」を完成させた。

* * *

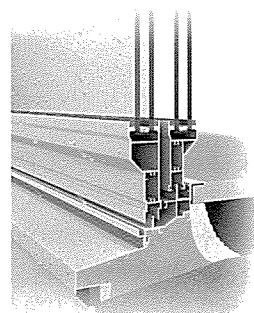
三代社長は、「1956年に誕生した国産1号機以来、自動ドアのトップブランドとして、「安全」「安心」「快適」を合言葉に世の中に様々なナブコ自動ドアを送り出してきました。自動ドアの普及にともない、1999年に100万台、2006年に150万台を突破し、このたび200万台達成の運びとなりました。

「いまでは自動ドアが毎日の生活の一部となっておりますが、自動ドアを開発し、普及に努めた先人達が試行錯誤を繰り返し、今日の広く人々の生活に役立つ製品を生み出し、広めた苦勞の結果であることを忘れてはなりません。工場の皆さんに加えて、それを支えるサプライヤーの方々、拡販、施工、アフターサービスでサポートいただいている販売会社、代理店の方々等、自動ドアに携わる全ての人々の努力があつての200万台達成であることを忘れてはなりません」と述べた。引き続き、村上ナブテスコ労働組合甲南支部執行委員長、上達甲南工場長が挨拶に立ち、式典を終えた。

三協アルミ

耐風圧性能4500Pa・水密性能1500Pa・断熱性能H-2「MTG70シリーズ 高性能サッシ新発売

三協立山株式会社・三協アルミ社(蒲原彰三社長)は、ビル用サッシの主力シリーズ「MTG70」に、業界初の耐風圧性能4500Paで、水密性能1500Paと断熱性能H-2等級を両立させた「MTG70シリーズ高性能サッシ」を新発売した。



近年多発している想定外の豪雨や両台風に対応する高層マンション・台風多発地域向け「高性能サッシ」。耐風圧性能がJISのS-7等級を上まわる4500Pa。空気層12mm以上の複層ガラスを採用と等気圧理論構造を応用した設計により、これまでの水密性能1000Paから1500Paにスペックアップ(JIS最高等級W-5<500Pa>)、断熱性能H-2等級と両立して、安心・安全で快適な住空間づくりを提供している。

窓種は、スライディング系2種(引違い窓2枚建・外動片引き窓)と、スイング系4種(FIX窓内押縁・外開き窓・たてすべり出し窓・かまちドア)の全6種。カラー全11色。ガラス溝幅36mm。参考価格:引違い窓2枚建・W2000×H2000mm、SLCシルバー艶消、遮音性T-2等級・断熱性H-2等級で7万7900円。

YKK AP

見込70mm・見付60mmの「SYSTEMA31」新発売、中間空気層12mm複層ガラスに対応

YKKAP(堀秀充社長)は、ビル用見込70mmウインドウで、見付60mmのスリムなフレームを実現した「SYSTEMA 31」を新発売した。

「SYSTEMA」シリーズは、軽快な意匠と明快な機能をコンセプトに開発されたオフィスビルや医療施設などの非居住建築物向けの中低層ビル用ウインドウ。

「SYSTEMA 31」は、スリムな60mm見付と、方立・無目の中央部に設けた目地でシャープさを際

立たせた透明感あるファサードを実現する。またオフィスビルの省エネにも配慮して、中間空気層12mmの複層ガラスに対応、H-2等級を実現。

そのほかにも、たてすべり出し窓に「自動復帰機能付セーフティストッパー」を標準設定。同じく「換気付非常用進入口仕様」(特許出願済)も品揃えした。ガラス溝幅は23mm・35mm・42mm(FIX窓のみ)。参考本体価格:FIX窓(耐風圧性S-5、遮音性T-2)のW800×H800mmで2万8900円。たてすべり出し窓W1000×H1500mmで7万9000円。

「EXIMA91c断熱カバー」追加発売
空気層12mm複層ガラス仕様約20%
コストダウン、CWの断熱化を推進

YKKAPは、ビル用カーテンウォールの基幹商品「EXIMA91c断熱カバー」を追加発売した。断熱カバーをプラスすることで、意匠性と機能性を維持しつつ断熱性能H-3等級を実現している。

商品は、フレームに樹脂製スペーサーを挟み、アルミ製断熱カバーで覆う断熱構造。これに中間空気層12mm複層ガラスを組み合わせ、断熱性能H-3等級相当を確保した。同時に、約20%のコストダウン(製品本体同社比)を実現し、これまでコスト面から普及が遅れている断熱カーテンウォールの拡大を後押しする。

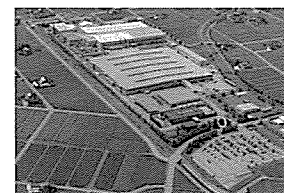
断熱カバーをプラスしたフレーム外観見付寸法は、「EXIMA91c」と同程度の方立65mm・無目60mmと、従来の方立90mm・無目80mmよりもスリム化された。

LIXIL

北陸地域におけるアルミ建材一貫生産工場「小矢部工場」の増設完了、月産2,500^トに増強8月本格稼働

LIXIL(藤森義明社長)は、2012年6月から進めていた「LIXIL小矢部工場」の増設工事を完了、8月から本格的に稼働させた。今後、下妻、前橋、久居、有明、タイの各工場と共にアルミ建材の一貫生産工場の一翼を担っていく。

小矢部工場は、北陸地域におけるビル用サッシ、住宅用サッシ、エクステリア商品の生産拠点。増設



工事は、鋳造ラインの1炉新設(既設溶解炉を置き換え)、押出ラインの2ライン増設(既設1ライン、高岡工場からの移設1ラインを合わせ計4ライン)、表面処理ラインの1ライン増設(既設1ラインと合わせ計2ライン)。これにともない、生産能力は月産700トンから2500トンに増強された。

概要——設備投資額が約93億円。建屋新設部は1万0491^m2(内、押出ライン約8600^m2)。飯島晋工場長、従業員数650人(正社員445人)。敷地面積17万0267^m2、建屋面積10万4858^m2。

旭トステム外装

窯業外装材「ATWALL ガーディナル」シリーズに15VZシリーズ・新柄「フォルタナVZ」(全3色) 発売

旭トステム外装(条生秀人社長)は、「きれい壁」を実現する最上位商品「ATWALL ガーディナル(三辺合じやくり工法)」シリーズの15VZシリーズに新柄「フォルタナVZ」全3色を発売中。

「フォルタナVZ」は、エッジの効いた割肌とフラットな面尾テクスチャーを組みあわせて壁面に変化を生み出した新柄。セルフクリーニング機能付き(セルフフッ素コート)、塗膜15年保証。価格:5917円/^m2。これにより「ATWALL ガーディナル」は、「18VZ」「15VZ」の2シリーズ、18柄・54品種に拡充された。同時に、15Yシリーズ(シーリング工法タイプ)に同柄の「フォルタナロンテSF」を発売した。長さ10尺のシーリング工法。セルフクリーニング機能付き(セルフフッ素コート)、塗膜15年保証。価格:5875円/^m2。

日本金属サイディング工業会

「第12回施工例写真コンテスト」の作品募集中、応募締切10月31日

日本金属サイディング工業会(会長:新美義根 チューオー代表取締役会長)は、「第12回施工例写真コンテスト」の応募作品を募集中。応募締切りは10月31日。応募要領は同工業会ホームページ——<http://www.jmsia.jp/>

対象作品は、工業会加盟8社の金属サイディングを使用したもので、来年1月審査、3月に最優秀賞、優秀賞、入選賞を表彰する。なお、今回もコンテストへの応募作品数に応じた金額を、東日本大震災の被災者支援のための義援金として日本赤十字を通じて寄付される。

エコ内窓

プラマードU

今ある窓の内側に
窓をプラス!



いつもの場所を、価値ある空間に

四国化成

塗りのジュラックス
JULUX

健康な空気は
塗り壁がつくれます。

あなたは、どちらを選びますか?

塗り壁JULUX

OR

一般のビニルクロス

塗り壁は呼吸する壁です。
優れた吸放湿効果があります。
ホルムアルデヒドを吸着し、無害化します。

ビニルは空気を通しません。調湿効果もありません。ビニルクロスを燃やすとダイオキシ
ンや塩化水素ガスの発生が懸念されます。

子どもは大人の約2倍の空気を吸っています*。

日本の住宅では、内装材にビニルクロスを採用するケースが多いと考えられています。最も多い理由は「安い」から、「施工がラク」だから。一方、塗り壁は日本の気候風土に最も適した仕上げ材。子どもは大人よりも呼吸する量は少ないですが、体重1キログラムあたりと比較すると大人の約2倍の空気を摂取していることとなります*。これから、長く暮らしていく家。空気の質をより安全なものにしたいなら、内装材は塗り壁がおすすめです。

*出典：東京都福祉保健局 化学物質の子供ガイドライン「室内空気質」

おすすめ商品

自然素材の内装仕上材

けいそうモダンコート

75色 調湿 ホルムアルデヒド吸着分解 F☆☆☆☆

ホームページで
JULUXCM動画
ぼやく赤ちゃんシリーズ
を公開中。

<p>省エネ</p> <p>断熱・遮熱</p> <p>Before After</p> <p>夏は涼しく、冬暖かく!</p>	<p>快適</p> <p>結露抑制・防音</p> <p>80dBが</p> <p>↓</p> <p>約40dB</p> <p>静かな公園</p> <p>結露抑制と高い遮音性で、 やすらぎの時間を。</p>	<p>安心</p> <p>防犯・安全</p> <p>視覚的効果</p> <p>+</p> <p>時間かせぎ</p> <p>窓を二重にして 防犯対策。</p>	<p>お手軽</p> <p>スピード施工・簡単施工</p> <p>①</p> <p>②</p> <p>③</p> <p>一窓あたり 60分 スピード施工</p> <p>短時間の施工で 満足度の高い効果を。</p>	<p>どこでも</p> <p>戸建てにもマンションにも</p> <p>居室から浴室まで 洋室・和室etc...</p> <p>どのお住まいにも 快適生活を実現!</p>
---	---	---	---	---

YKK AP株式会社

お客様相談室 ☎ 0120-72-4134 ※携帯・PHSからは0570-07-4134(有料)へ

●受付時間/月曜～土曜9:00～17:00(日・祝日・年末年始・夏季休暇を除く)

http://www.ykkap.co.jp/

窓を
考える会社

YKK
AP

四国化成工業株式会社
http://kenzai.shikoku.co.jp

東京 TEL.022(374)4110 近畿 北陸 TEL.06(6339)4111 九州 TEL.092(431)4111
首都圏 TEL.03(3451)4110 中国 TEL.086(245)3811
中部 TEL.052(705)0111 四国 TEL.0877(58)5211